

がん教育実施報告書

学校名	会津美里町立高田中学校		
実施対象者 (学年・保護者など)	第2学年生徒(2学級)		
教育課程の位置づけ	体育・保健体育	道徳	学級活動・HR活動 講演会・行事 その他()
実施日時	令和6年11月5日(火) 13:50~14:50		
打合せについて	【1回目】方法:メール	内容:実施日時の調整	
	【2回目】方法:メール	内容:授業内容について	
外部講師 職・氏名	職名	がんピアネットふくしま 理事	氏名 大内 直美
実施内容	<p>【めあて】</p> <p>がん患者やその家族の思いに共感し、支え合って生きていくことの大切さを理解するとともに、かけがえのない自他の生命を尊重することができるようにする。 ＜D-(19)生命の尊さ＞</p> <p>【指導過程】</p> <ol style="list-style-type: none"> クイズに回答することで、がんという病気の概要について保健体育科で学習したことを振り返る。(T1) 体の痛み、手術・入院費用、家族の世話、仕事への影響、外見上の変化、恐怖など、がんになることで起こる問題や不安について想像する。(T1) がんの治療に必要な身体と心への支援や、がん患者との共生に必要なことを、体験談から知る。(GT) 授業をとおして考えたことをまとめる。(T1) 		
成果等	<p>【生徒の反応・感想】</p> <p>「がん=死というイメージが大きく変わった。がんにかかっても周りのさまざまな専門家の人たちが協力してくれる。」「がんにかかった人に私たちができることは、自分の想像力を働かせ、その人の立場になって一緒にがんについて考えていくことだ。」「優しく接してもらった恩を、ぴあサポーターとなって同じ境遇にいる人たちに返している姿がとともかっこいい。」「大内さんを支えた方々のような誰かを救えるような存在になれるように努力していきたい。」「がんを患っている人がつらい時に、気軽に休める環境を作ってあげることが大切だ。」「今日学んだことを家族にも話して、より多くの人のがんについて理解できるようにしたい。」等、人間の優しさと強さ、患者の痛みに対して寄り添う大切さを感じ取った。</p> <p>【成果・課題】</p> <p>がんの体験者から話を聞くことで、がんになっても自分らしい生き方ができることに気づいたり、共生するとはどういうことかを当事者意識で考えたりすることができた。予防や検診の大切さについても説得力を持って述べていただき、今自分にできることを深く考える機会となった。</p>		

